奈良町の伝統行事(地域の地蔵盆)の実態調査報告書

令和2年3月 奈良市

調査の目的

本調査は平成30(2018)年度に続き、「新奈良町にぎわい構想」の一環として、奈良町の地域で行われている伝統行事やお祭りを網羅的に把握・調査し、紹介する冊子を作成するために行われた。令和1(2019)年度は、奈良町で行われる地蔵盆を対象として、事前の情報収集をもとに、当日、現地の観察および聞き取り調査を行い、その結果を報告するものである。

調査の概要

対象:全体では51件で、そのうち町主催が43件、寺主催が8件であった。

期間:7月20、21、22、23、24、27日、8月6、23日

方法: 当日の様子を観察記録し、可能な限りで現地の方に聞き取りを行った。記録内容は、地蔵尊の名称、形態、数、お供え物、飾りつけ、地蔵尊の安置している建物などを記録した(詳細は下記の調査票フォーマットを参照)。また、可能な場合は、地蔵盆を運営している町会の人や僧侶に、地蔵にまつわるいわれや行事の経緯などを聞き取った。なお、記録と聞き取りは、奈良県立大学の教員・学生と奈良市職員が実施した。

調査票のフォーマット

	地垣	或の比	也蔵:	盆証	己録习	頁目							町名								
	調査	調査日											平成	30年	· 度	冊子i	番号	地	蔵盆の	名称	
	調査	査場所 ()						日付	日付け							
	調査	調査者()		時間	、内	容(り情報	艮				
地	1	地元での地蔵			での呼	Fびá	お地蔵さん)		
蔵																					
の	2	地蔵	ŧのŦ	形質			石造	5		木造	불		その	他(()	
Z																					
٢	3	地蔵の数		数			□ 1体			2 ~	~3体		□ たくさん								
地蔵周辺のこと	4	お飲	り			なし	,		あり	J											
										よた	ごれた	かけ									
										提灯	Ţ										
										(□地蔵周辺			Dだけ	t			内も)	
										灯明 (ろうる			そく)								
										掛け	ナ軸										
										その	その他()	
	(5)	お供え物			なし	なし		あり	J												
										市則	市販のも										
										それ	れ以外()	
										□ 写真		夏を打	撮る								
	6	建物	建物		洞	祠(人た		が入れない			口お		堂(人が入れる)								
					会所							その)他	屋夕	k , <i>J</i>	屋根(のみ)	
写		全体	全体像(地蔵盆の様子がわかる写							真)				% 7	でき	るだ	ナど	っち	も撮る		
真		詳細	∄ (‡	お地蔵	えさん	ノやオ	ゔ飾	りの	アッ	プ)											
Х																					
Ŧ																					

調査の結果

調査結果については一覧表にまとめているが、全体を見渡した地蔵盆の状況について以下に簡単に述べる。

(1)日にち・日数

全体の約80%弱が7月23日か24日のいずれか、または両日に実施していた。7月23日前後の土曜または日曜としているものが5件あった。これは平日よりも参加が見込める(とくに子ども)ことが理由のようである。8月23日か24日のいずれか、または両日とする所が7件あった。多くの町が旧暦の地蔵盆の時期ではなく、新暦の日取りに変更したものと思われる。

開催日数は、1日が39件、2日が12件であった。以前は2日だったのを1日に、1日を 半日に短縮したり、祭りを2年に1回に変えたりした所があることから、全体に日程を短 縮する傾向にあるものと思われる。

(2)時間

実際の開催の時間帯は、町および寺によってまちまちであるが、概ね二つに分類できる。

- ①午前中から始まり、夕刻ないし夜までのパターン。
- ②午後または夜の2~3時間実施するパターン。

(3)内容

①法要・読経、数珠繰り

法要または読経を行っているのは34件で、地蔵盆全体の約3分の2にあたる。御詠歌をあげているのは4件のみであった。数珠繰りを行っている所は9件である。かつては数珠繰りをやっていた地蔵盆は3件あったが、そのうち2件は50~60年ほど前にやめている。

②お下がり、お菓子の配布

お下がりがあると答えたのは 6 件、お菓子の配布は 4 件である。いずれも町内の人および子どもに限る場合が多い。

③出店・出し物

出店等で飲食物の販売や提供をしていたのは 8 件であった。品目は、焼き鳥、焼きそば、フランクフルト、かき氷、ビールなどが共通して出されている。最も大がかりな出店は、元興寺の万灯供養会に合わせて境内に設置されるもので、10 張り程のテントにさまざまな出店が並ぶ。

その他に、ピンゴ大会、スーパーボールすくい、ヨーヨーすくいなど、子ども向けのアトラクションを提供する所が複数みられた。花芝町は、地元商店街が会場となっており、、飲食物の提供や子ども縁日で賑わう。また、一部の寺院の地蔵盆では、紙芝居、マジックなどの出し物を演目に入れている。不空院の地蔵盆では、もちつき、スイカ割り、流しそ

うめん、花火大会、子ども将棋大会など、子どもに人気の催しが多く用意されていた。

このように賑わいをみせる地蔵盆がある一方、以前は、金魚すくい、綿菓子などを出していたが現在はやっていないとする町が 4 件あり、全体としては出店や出し物が無くなる傾向にあるものと思われる。出店、出し物をやめた理由として、中心となって企画を進める人がいなくなったことや開催する場所が無くなったことを挙げた自治会があった。

福引・くじ引きは12件で行われているが、対象は基本的に町内の人のみである。

(4)地蔵尊の名称、形態・数

①地蔵尊の名称

地元の人からの聞き取りによると、単に「お地蔵様」、「お地蔵さん」と呼んでいる地蔵尊が25件あった。一方、通称や愛称をもつ地蔵尊は23件であった。全体のうち、両方の名称をもつものが6件あった。通称、愛称は、さらに、a.地蔵尊の所在する場所を示すもの、b.ご利益を示すもの、c.特別な呼び名のものに大別できる。a.地蔵尊の所在する場所を示すものの例は、「三条池町地蔵さん」「中清水の地蔵」「笠屋町の地蔵」などである。b.ご利益を示すものには、「しあわせ地蔵」「延命地蔵」「十福地蔵」「子安地蔵」などがある。c.特別な呼び名には、地蔵尊にまつわる所縁や特殊な形状などに由来した「掘り出し地蔵」「歩き地蔵」「裸地蔵」がある。

②地蔵尊の形態と数

a.メインに祀られている地蔵尊

地蔵尊の形質は、4分の3が石像で、残りの4分の1が木像である。数は、 $\lceil 1$ 体」が 25件、 $\lceil 2\sim 3$ 体」が7件、 $\lceil たくさん$ 」が19件であった。

石像の多くは半彫りで、とくに屋外に置かれた地蔵尊は簡素なものが多い。一方、木像の地蔵尊には堂内に安置されるものがあり、県指定文化財(普光院)や有名な仏像(傳香寺)も含まれている。

b.周辺に祀られているその他の地蔵尊

メインの地蔵尊の周辺にも地蔵尊が祀られているものは 14 件で、形質は 13 件が石像、1 件が木像である。数は、「1 体」が 0 件、「2~3 体」も 0 件で、「たくさん」が 14 件であった。「たくさん」に該当し、実際の数がはっきりわかる地蔵尊は 4 体から 57 体までと幅が広い。多数の石像の地蔵尊を祀っている場合、もともとは異なる場所にあったものを集めて現在の形になっている例がみられる。

(5)お飾り等

よだれ掛け、提灯、灯明、生花は、ほとんどの地蔵盆でみられた。地蔵尊の描かれた掛け軸を祀っている例は4件と少ない。子どもが願い事や絵を描いた行燈を飾る地蔵盆は6件であった。

(6)お供え物

ほとんどの地蔵盆で、お供えがされていた。品物を地蔵尊の前に備える場合と、品物を

入れた箱を近くに備える場合がある。品物は、ごはん、赤飯、餅、野菜、果物、菓子、お茶、ジュース、酒類などである。ごはんと何品かのおかずで構成される生御膳を供えている例は少ない。また、寒天、昆布、さつまいもなどを串に指してお供えをするこの地域独特の形がみられたのは、上清水町、下幸町・上幸町の2件のみであった(写真参照)。なお、下高畑町では、お供え物の作り方の説明が掲示されていた。十三軒町でも、現在は品物を置くようになっているが10年ほど前はこの形であり、地元の昆布屋で地蔵盆用に扇型の昆布が売られていたという話から、その他の地蔵盆でも同様の形態のお供えがなされていたことが推測できる。



20 上清水町



21 下高畑町



22 下幸町・上幸町



35 十三軒町

(7)建物

地蔵尊を祀っている建物や場所については、祠が 18 件、人が入れるお堂が 14 件、屋外で野ざらしか簡単な屋根程度があるものが 12 件であった。また、会所を供えている町は 5 件であった。

まとめ

(1)全体的な傾向

今回の調査では、町主催の43件、寺主催の8件の地蔵盆を取り上げて記録をとった。し

かしながら、小規模ではあるものの奈良町の中ではこの他にも地蔵盆が行われており、すべてを網羅しているわけではない。これだけの密度で地蔵盆が続いていることからは、この地域における人びとの地蔵信仰と伝統的な行事に対する思い入れの強さが垣間見られる。

地蔵盆全体に共通していることは、参加者の高齢化であり、子どもの減少である。現地での聞き取りから、多くの地蔵盆で、この問題を抱えていることが明らかとなった。ただし、寺院が行う地蔵盆は概して規模が大きく、一定の幅の年齢層の参加者が観察できた。それらの場合、出店や出し物も豊富であり、集客力をもっているものと思われる。しかし、町主体で開催している地蔵盆については、子どもの参加は限界的状況といってよい所も散見された。本来、地蔵盆は子どものための行事であるため、その趣旨が維持できないという状況に至っているのだが、他方で、子どもの参加を絶対視せず、むしろ大人が楽しむ地蔵盆を構想する町もみられ、地蔵盆を続けていくためのひとつの考え方が示されている。

(2)にぎわいと観光に結びつく可能性

まず、町全体に繰り広げられる風物詩としての価値が注目される。個別の地蔵盆は縮小傾向にあるものの、奈良町全体で、特定の日に同じ行事が一斉に行われていることは特筆に値する。地蔵盆の開催は、7月23日が41件、翌24日が11件と、この二日間に多くが集中している(調査対象外のものを加えるとさらに増える)。特に23日にこの地域を訪れれば、自ずと地蔵盆に遭遇することになり、非日常的なハレの空間を感じることができるだろう。子ども時代に地蔵盆を体験した人にとっては懐かしく、反対にはじめて目にする若い世代にとっては新鮮な珍しい光景として映るものと思われる。

もうひとつは、個別の地蔵盆の中には、一定の観光的な要素と集客力を有するものがあることである。具体的には、傳香寺、元興寺、福智院、不空院などの寺院が主催するものと、商店街が関与する花芝町の地蔵盆で、特徴のある行事が含まれていることや、出店や催し物が豊富であることが誘客の要因となっている。これらの地蔵盆は、地元住民だけでなく、外部からの来訪者にも開放的であることからも、奈良町をにぎわいのある町として構想していくうえでは、大切な役割を担うものと考えられる。一方、町の小さな地蔵盆を巡るツアーも実施されており、ガイドの案内を伴うことでより深く奈良町の歴史や文化に触れられる可能性がある。

地蔵盆の維持と町の活性化のためには、地蔵盆という伝統行事の意味や、付随する楽しみの存在について、的確で継続的な情報発信をしていくことが期待される。ただし、町が主体となる小規模な地蔵盆においては、行事への参加が地元町内の人に限る場合も多く、必ずしも外部からの来訪を望んでいるわけではないので、参加の可否や参加の際の条件を明示する必要があろう。

令和 2 年 2 月 12 日 作成 奈良市 執筆 奈良県立大学地域創造学部 教授 堀野正人

調査の結果 写真編

○) □:○)は令和 1 年度冊子 No. □は平成 30 年度冊子 No.

1) 41 般若寺町









2) 57 興善院町





3) 65 手貝町









4) 94 佐保川西町第一・第二





5) 73 法蓮桜町

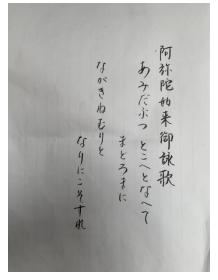




6) 法蓮南町一丁目(法蓮会所)









7) 北袋町









8) 60 北半田中町









9) 93 押上町









10) 花芝町 十福地蔵尊地蔵盆













11) 70 三条池町









12) 44 奥子守町





13) 45 寺町







14) 43 餅飯殿町









15) 58 南市町











16) 71 率川地蔵盆



17) 72 勝南院町









18) 59 御所馬場町









19) 49 中清水町









20) 55 上清水町









21) 56 下高畑町









22) 67 上幸町·下幸町













23) 64 笠屋町







24) 51 中通町









25) 50 築地之內町





26) 47 中新屋町





27) 91 西新屋町 (庚申堂)













28) 96 元興寺町





29) 鳴川町 (小塔院の南)





30) 61 南城戸北方町・南方町・浄言寺町









31) 南袋町二丁目 ※令和1年度は夏祭りを実施せず(2年に1回)

32) 40 大森町南





33) 62 瓦町









34) 八軒町









35) 63 十三軒町









36) 48 綿町·京終地方東側町·京終地方西側町







37) 52 紀寺東口町









38) 53 新屋敷町







39) 中辻町





40) 釜屋舗町





41) 54 肘塚町





42) 京終地蔵院





43) 92 南京終西町





A)普光院









B) 念聲寺













C) 傳香寺











D) 元興寺万灯供養会













E) 十輪院





F) 福智院 7.23













G) 不空院

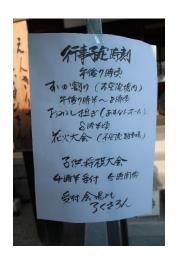
















H)璉珹寺











その他法蓮南一丁目二丁目



